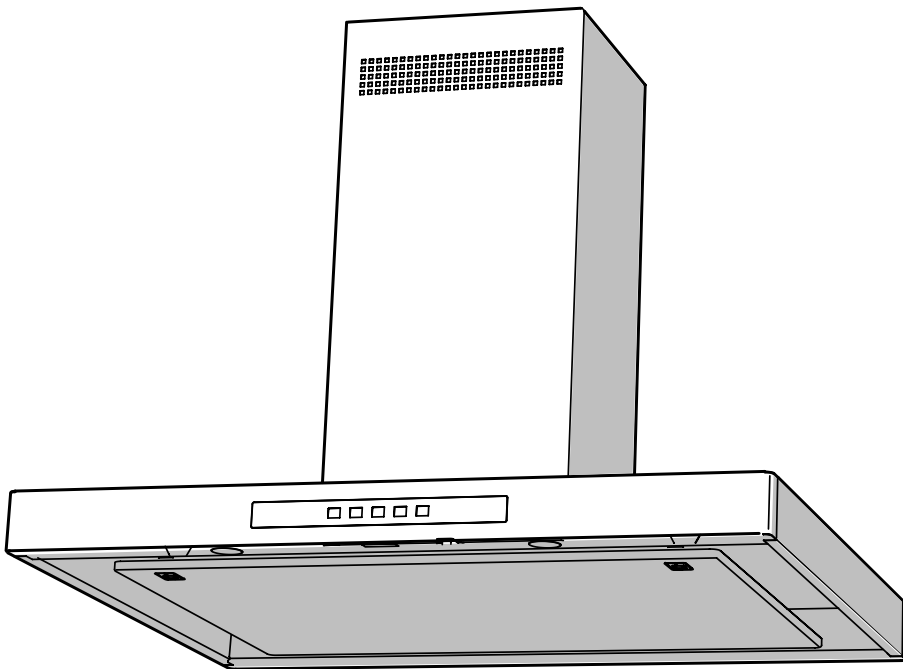


施工業者様用

Panasonic®

工事説明書 センターフード

品番 FY-9DCT17X FY-9DCT18X



・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ	安全上のご注意	2～4
	各部の名前	5
	製品外形寸法図	6
	付属品・別売品	7
	取り付け前に	8～9
	施工方法	10～15

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■仕様変更・改造は絶対にしない



分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■D種接地工事をおこなう



アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける



漏電した場合、火災の原因となります。

■交流100ボルト以外で使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

(電気設備技術基準
省令 第59条
解釈 第167条 3項)

注意

- 本体は、十分強度のあるところ
にしっかり取り付け、
強度不足の場合には補強する



落下により、けがを
するおそれがあり
ます。

- 部品は確実に取り付ける



落下により、けがを
するおそれがあり
ます。

- センターフード本体の壁へ
の埋め込みはしない



禁止

漏電した場合、発火す
るおそれがあります。

- 配線工事は、電気設備技術
基準や内線規程に従って、
確実にこなう



誤った配線工事は、
漏電、感電や火災の
おそれがあります。

- 本体は指定の方法で確実に
取り付ける

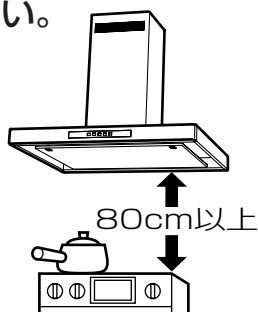


落下により、けがをする
おそれがあります。

安全上のご注意 (続き)

お願い

- ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。



火災予防条例ではグリスフィルターの下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上必要です。

(高く取り付けますと吸い込みが悪くなります。)

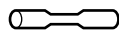
- 次のような配管工事はしないでください。
(吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません。)

(1) 極端な曲げ (2) 吐出口のすぐそばでの曲げ



アダプター

(3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする。



- エアコンなどによる横風の当たる場所には取り付けないでください。

横風の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。

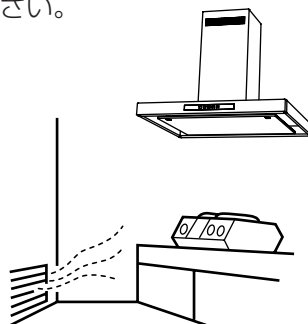
- 本体の取り付けは、製品の重量に耐えるようしっかりと、水平に取り付けてください。

- 工事の際はけが防止のため、手袋を着用してください。

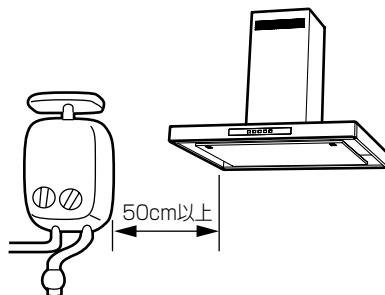
- 空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。

(開口面積100~150cm²が目安となります。)

給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。



- ガス湯沸器は側方に離して取り付けてください。



- 全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。

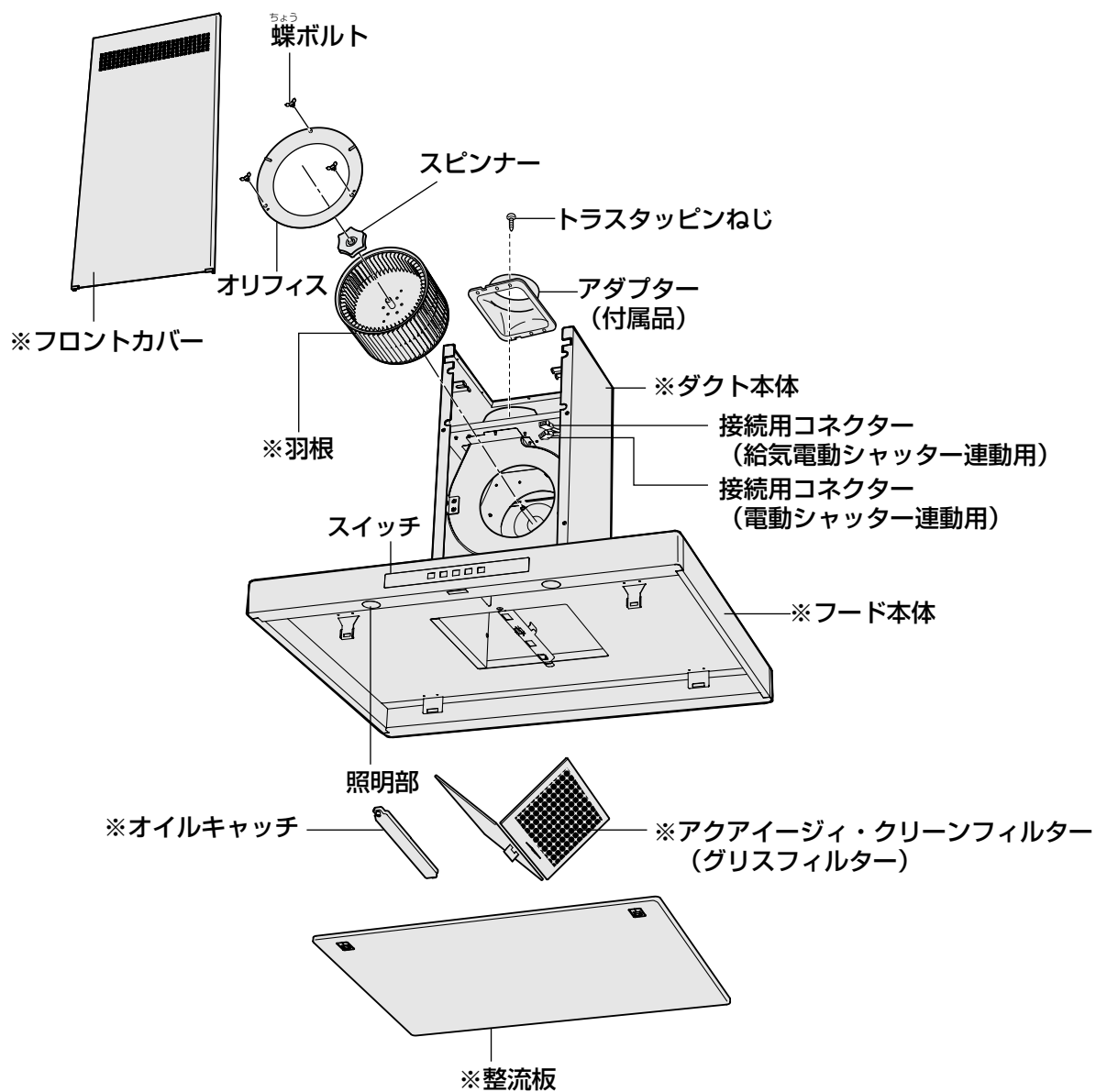
- ノイズが発生しやすい機器（照明等）とダクト配管を接触させないでください。

スイッチが誤動作するおそれがあります。

- センターフード本体とダクトは可燃物との間は10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。

詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

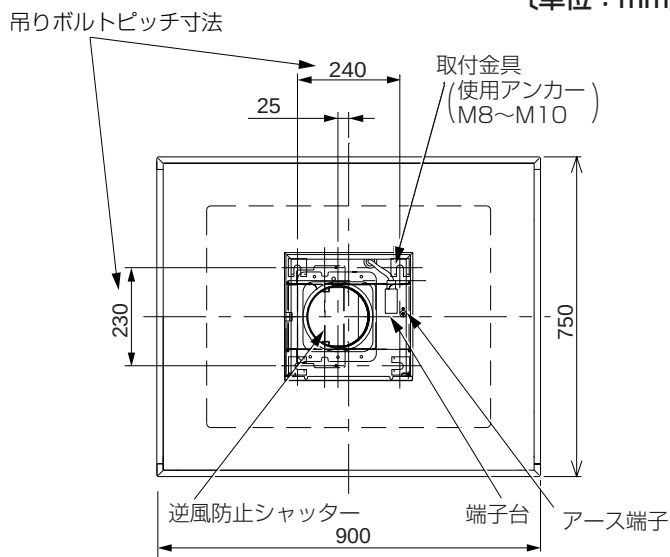
各部の名前



※印部品に特殊処理（はっ水塗装または親水性塗装）をおこなっています。
塗装部分に直接さわりますと、指紋がつくことがあります。
施工の際は、手袋の着用をお願いします。

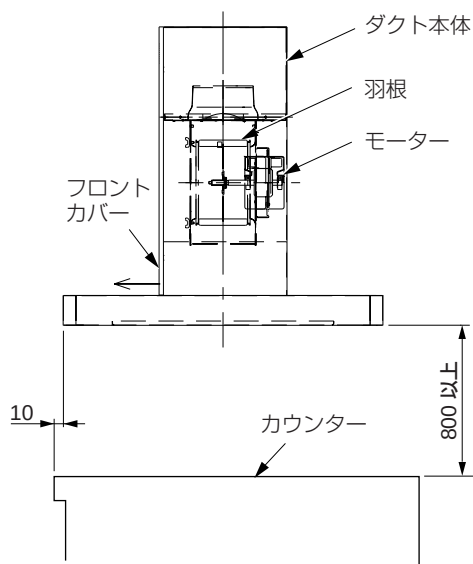
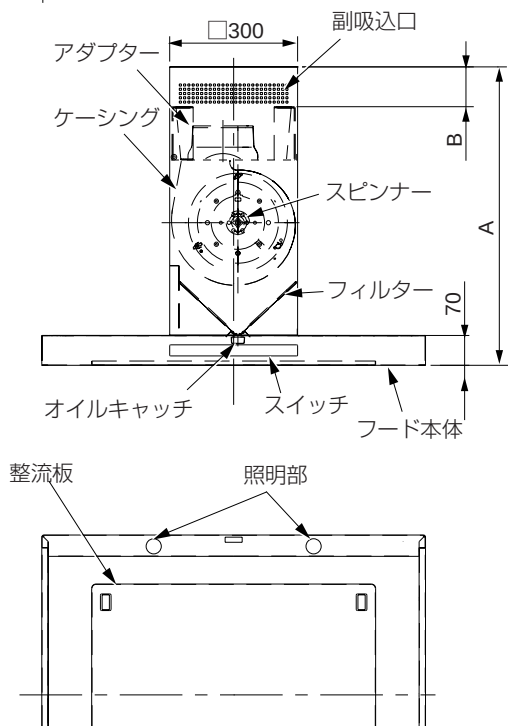
製品外形寸法図

〔単位：mm〕 ■接続ダクト（市販品）



呼び径	種 類
φ150 (6番)	鋼板スパイラルダクト

	A	B	質量 (kg)
FY-9DCT17X	700	93	29
FY-9DCT18X	800	193	30



付属品・別売品

お願い

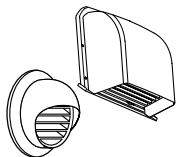
この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

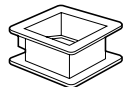
- | | | | | | |
|--|---|----|------------------|---|----|
| ●パッキングテープ
(ダクト接続用) |  | 1個 | ●サポートプレート..... |  | 1個 |
| ●薄板金専用ねじ
(本体固定用) (φ4.2×32) |  | 3個 | ●スペーサー..... |  | 1個 |
| ●トラスタッピンねじ
・アダプター固定用 (φ4×8) ... |  | 2個 | ●ワッシャー..... |  | 4個 |
| ・スペーサー固定用 (φ4×8) |  | 2個 | ●吊り用ワッシャー..... |  | 4個 |
| ●トラス転造ねじ
(ダクト本体固定用) (φ5×10) ... |  | 6個 | ●オイルキャッチ..... |  | 1個 |
| ●バインドタップタイトねじ
(ダクト本体固定用) (φ4×8) |  | 2個 | ●フィルター..... |  | 2個 |
| ●なべタッピングねじ
(サポートプレート固定用) (φ3×6) ... |  | 2個 | ●アダプター..... |  | 1個 |
| ●ナット (本体吊り下げ用) |  | 8個 | ●常時換気お願いラベル..... |  | 1枚 |
| (M8) | | | ●ダクトスペーサー..... |  | 3枚 |

別売品 詳細についてはカタログを参照してください。

●パイプフード



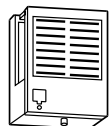
●電動シャッター FY-MSSJ06



●ベントキャップ



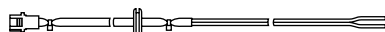
●給気電動シャッター



●給気電動シャッター連動用コード

FY-WW001

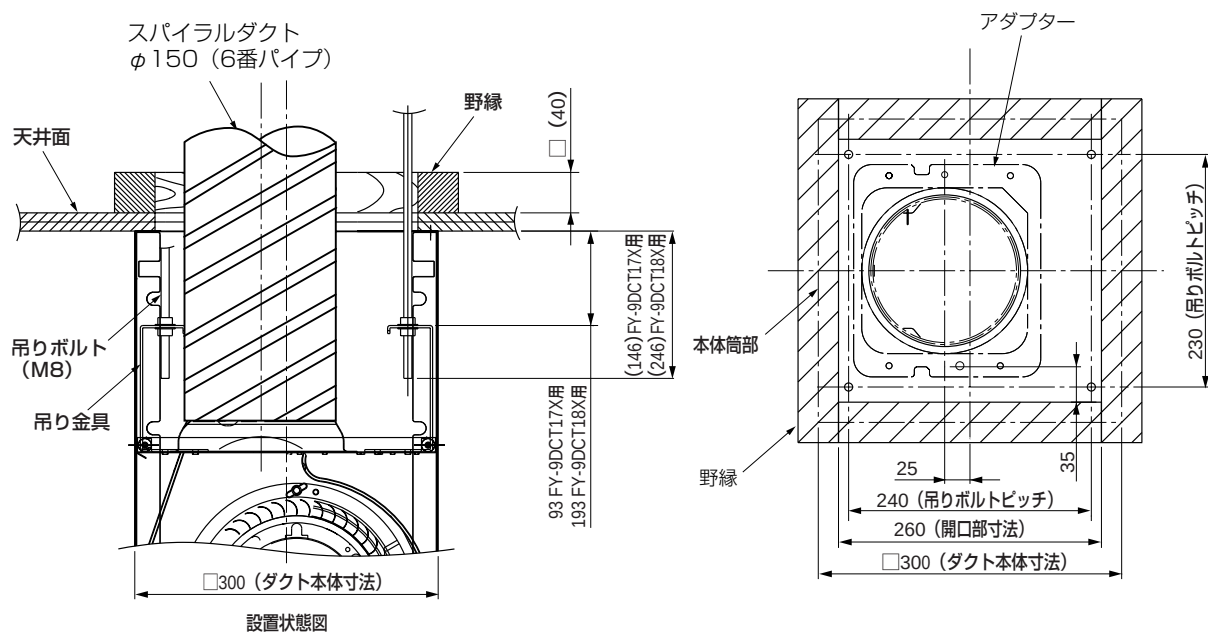
(給気電動シャッターを使用される場合)



取り付け前に

■センターフード取り付け用栈工事

1、センターフードの取り付け用吊りボルト、野縁は下図のように取り付けます。



- 2、野縁は厚み40mm×幅40mm以上のもの（できれば防虫処理したもの）を使用してください。
- 3、センターフードの質量（6ページ参照）に十分耐える取り付けをしてください。
- 4、センターフードは、水平に取り付けてください。（0.5度以内）
傾いて取り付けますと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

⚠ 注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

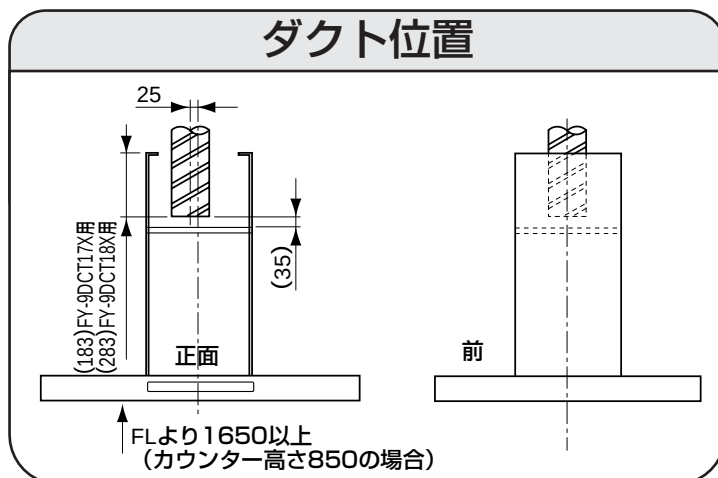


落下により、けがをするおそれがあります。

■ダクト配管について

- 1、製品外形寸法図、または右図の吐出穴位置に天井穴をあけてください。
- 2、ダクトは、φ150のスパイラル管を右図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。

ダクト位置



■電気工事について

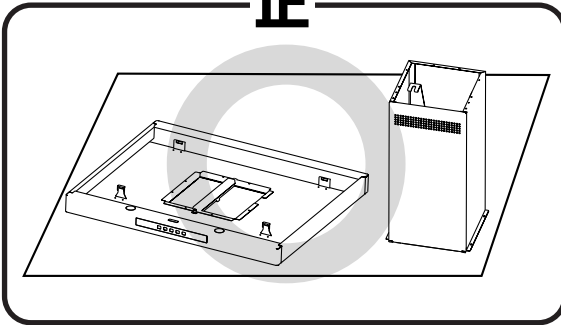
※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

- 1、本機は交流100V仕様です。
- 2、本体を設置する場所の天井開口部(8ページの図参照)に電源線(VVFケーブル2心 ϕ 1.6または ϕ 2.0)とアース線を600mm出してください。
- 3、アース工事を必ずおこなってください。

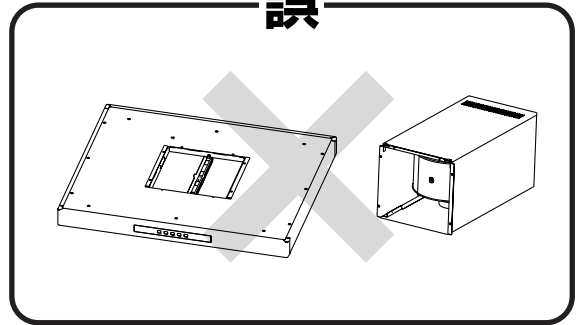
■開梱の際は

- 1、本体に取り付いている包装材(段ボール、テープ)を必ず取りはずしてください。
本体表面の保護シートは、施工終了まではがさないでください。(傷付き防止のため)
- 2、床面に段ボールなどで養生した上に、下図のような正しい置きかたをしてください。

正



誤



※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。

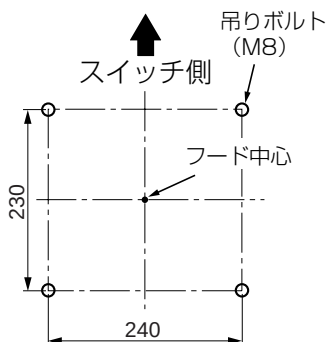
施工方法

以下の手順に従って施工してください。

1. 吊りボルトの取り付け

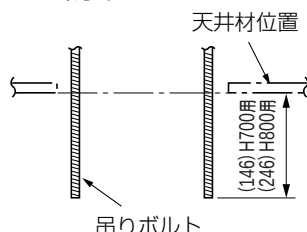
- ① 吊りボルト (M8) を下記のピッチで設置する。

〔単位：mm〕



天井を見上げた状態図

- ② 天井材と吊りボルトの位置が、下記寸法となるように調節する。



(H700用：FY-9DCT17X)
(H800用：FY-9DCT18X)

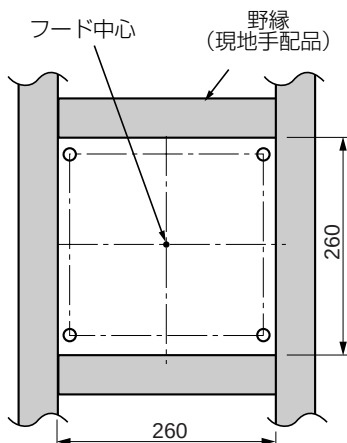
お願い

本体質量 (6ページ参照) に耐えられるように吊りボルトを設置してください。

2. 野縁の設置

- 吊りボルトに合わせて下記の通り野縁を設置する。

〔単位：mm〕

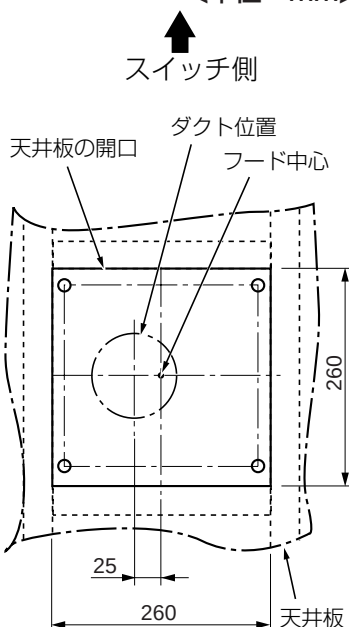


天井を見上げた状態図

3. 天井板の施工

- 天井板を貼り付け、野縁の開口の中心と合うように□260の穴をあける。

〔単位：mm〕

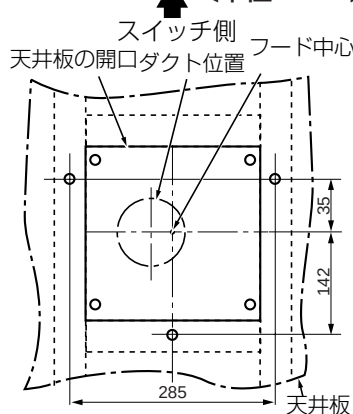


天井を見上げた状態図

4. ダクト本体の取り付け

- ① 付属品の薄板金専用ねじ (3本) を下記の寸法で天井に取り付ける

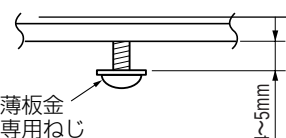
〔単位：mm〕



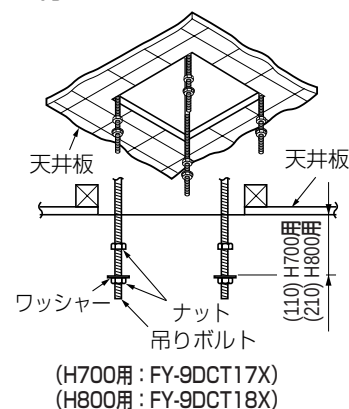
天井の施工で角穴寸法を抜いたもの

天井を見上げた状態図

- ② ①で取り付けした薄板金専用ねじを天井板とのすき間が4～5mmになるまでゆるめる。

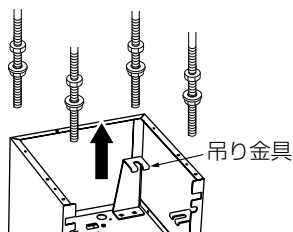


- ③ 付属品のナット・ワッシャーを吊りボルトに取り付ける。

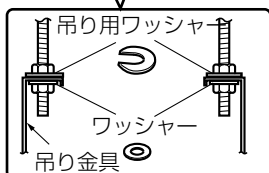
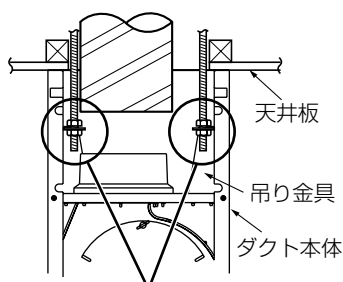


(H700用：FY-9DCT17X)
(H800用：FY-9DCT18X)

- ④①で取り付けしたワッシャーとナットの間にダクト本体の吊り金具を引っ掛ける。

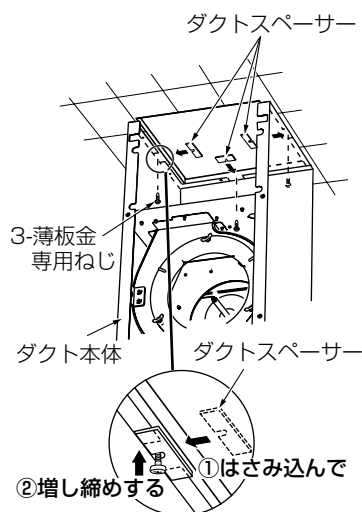


- ⑤下図のように 吊り用ワッシャーを吊り金具とナットの間にはさみ、しっかりと固定する。



- ⑥天井板とダクト本体の間にすき間ができないようにナットを増し締めする。

- ⑦②でゆるめたダクト本体内の薄板金専用ねじと天井の間に付属品のダクトスペーサー (3個) をはさみ込み、しっかり増し締めしてダクト本体を固定する。



お願い

吊り作業は二人以上でお願いします。

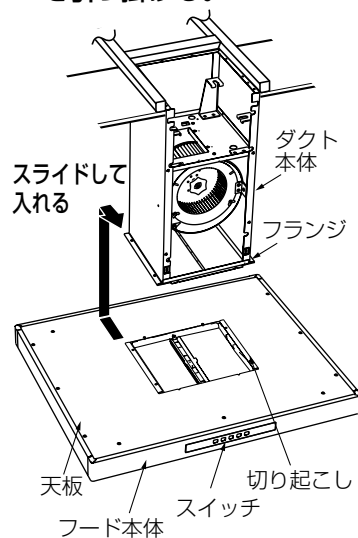
5.フード本体の取り付け

フード本体とダクト本体を取り付けます。

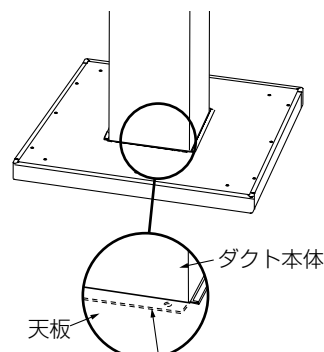
お願い

ダクト本体のフランジ部の保護シートは施工前にはがしてください。

- ①フード本体の切り起こしのすき間にダクト本体フランジをすべり込ませて、フード本体とダクト本体を引っ掛ける。



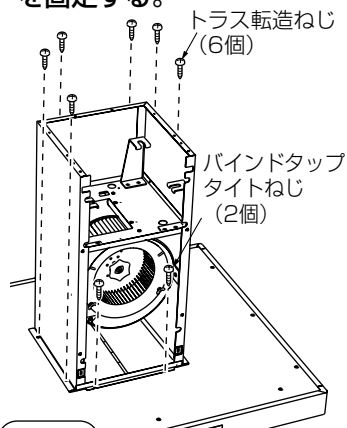
※ダクト本体の後ろ側のフランジが、フード本体天板の下側に入っていることを確認してください。



ダクト本体のフランジを天板の下側に入れてください。

施工方法 (続き)

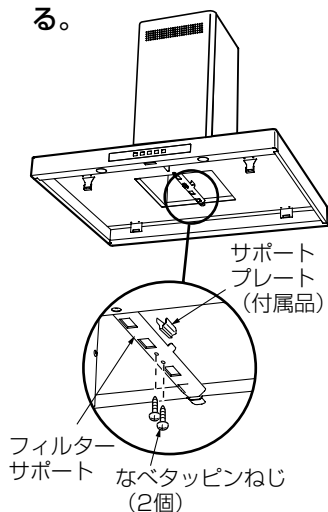
- ② 付属のトラス転造ねじ (6個) とバインドタッ
プタイトねじ (2個) で
ダクト本体とフード本体
を固定する。



お願い

ねじの頭をつぶさないよう
に手締めにてしっかり固定
してください。

- ③ フード本体中のフィルター
サポートにサポートプレ
ート (付属品) をナベタッピ
ンねじ (2個) で取り付け
る。

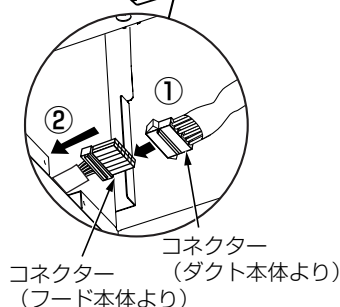
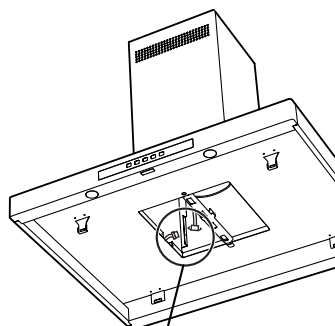


お願い

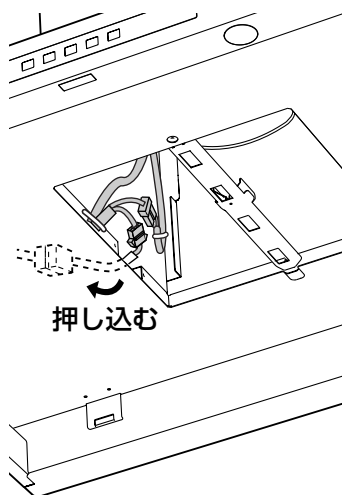
サポートプレートの取り付
けを忘れないようにしてく
ださい。

6.コネクターの接続

- ① コネク터를接続する。

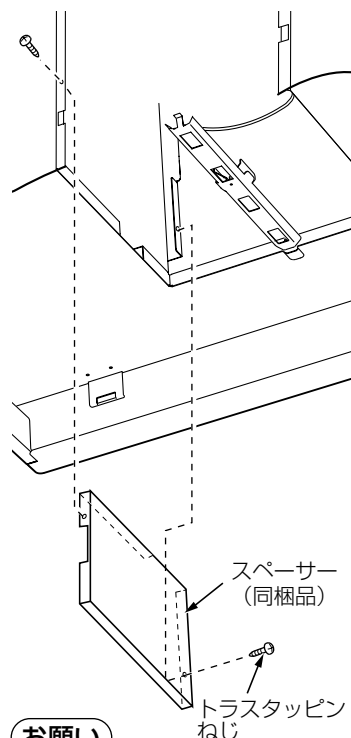


- ② 接続したコネク터를フ
ード本体の中に押し込む。



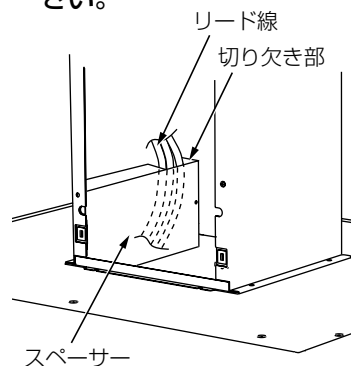
7.スペーサーの取り付け

- ① スペーサーをトラスタッ
ピンねじ (2個) でダク
ト本体に取り付ける。



お願い

● スペーサーの固定の際は、
リード線をかみ込んでい
ないか十分確認してくだ
さい。



8.ダクトの接続

お願い

- シャッターの向きに注意してダクトを取り付けてください。

- ①アダプター（付属品）にバックグテープ（付属品）を貼り付ける。

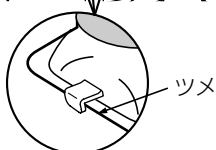
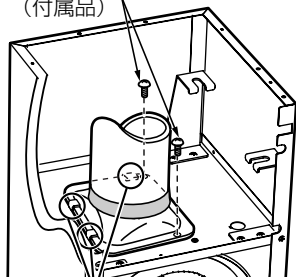


- ②ダクトとアダプター（付属品）のを接続する。



- ③アダプターを本体にトラスタッピンねじ（付属品）にて固定する。

2-トラスタッピンねじ（付属品）

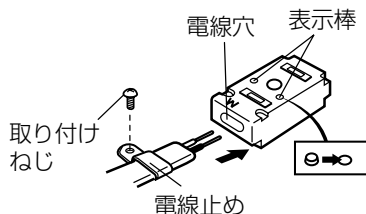
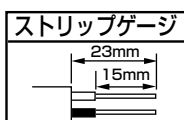


お願い

- ダクト本体のツメ(3か所)にしっかりアダプターを差し込んだ後にねじ止めしてください。
- アダプター奥のツメにアダプターが引っ掛かっているか確認してください。

9.電源の接続

- ①VVF2心の電線被覆を2本共ストリップゲージに合わせてむく。
- ②電線穴に心線を2本同時にぐっと奥まで差し込み、表示棒が下がることを確認する。
- ③充電部の露出がないことを確認する。
- ④電線止めにて電線を固定する。



W側へ接地側電線（白色）を接続してください。

警告

■電線は確実に差し込む



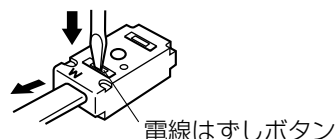
不確実な接続をすると端子部が過熱し、火災のおそれがあります。

お願い

ストリップ長さが適切でない場合や表示棒が下がっていない場合は、端子部の異常発熱の原因になり危険ですので、ストリップ長さを再度確認の上、結線をやり直してください。

（参考）電線ははずす場合

- ブレーカーを必ず切る。
- 電線はずしボタンをマイナスドライバーで押しながら、電線を引き抜く。



警告

■施工時には、分電盤のブレーカーを切る



感電やけがをすることがあります。

お願い

ブレーカーを切らずに電線をそのまま放置すると、感電の原因になり危険ですので、必ずブレーカーを切ってください。

- 万一の感電防止、またスイッチの誤動作防止のため、必ずフード本体天面のアース端子を使用してアース工事をしてください。

※アース工事をしていないと、スイッチが誤動作することがあります。

警告

■D種接地工事をおこなう



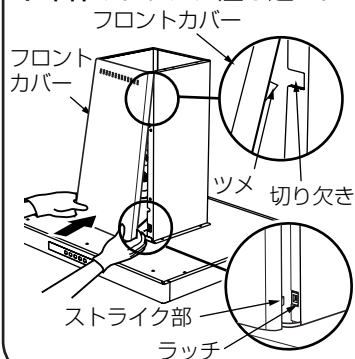
アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

施工方法 (続き)

10. フロントカバーの取り付け

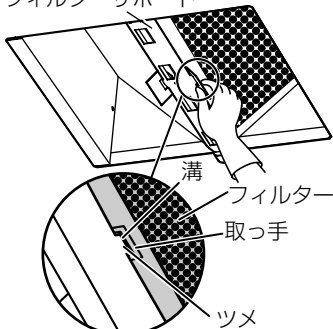
フロントカバーのツメをダクト本体の切り欠きに差し込み、上に持ち上げながらフロントカバーのストライク部をダクト本体のラッチに差し込む。



11. フィルターの取り付け

フィルターをダクト本体内部に沿って上げ、取っ手の溝をフィルターサポートのツメに差し込む。

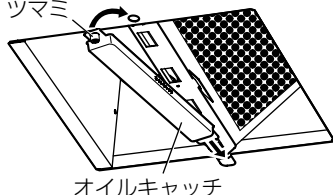
フィルターサポート



12. オイルキャッチの取り付け

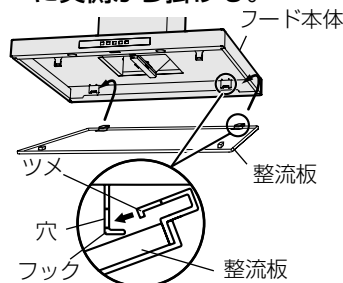
オイルキャッチのツメをフード本体の溝に差し込み、ツマミを回してオイルキャッチを固定する。

ツマミ

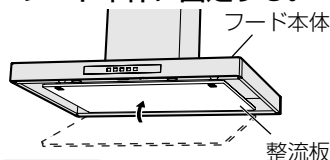


13. 整流板の取り付け

- ① 整流板を両手で持って、
- ② ツメを本体のフックの穴に奥側から掛ける。



- ② 整流板を両手で起こしてフード本体に固定する。



お願い

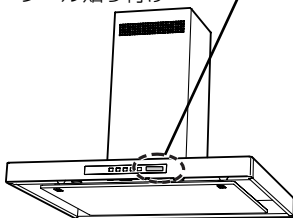
- 両側のラッチがきちんとかかっているかご確認ください。

14. ラベルの貼り付け

このセンターフードを常時換気設備として使用する場合は、常時換気お願いラベルをスイッチ付近に貼り付けてください。

24時間連続換気してください

ラベル貼り付け



※常時換気お願いラベルは付属品の中に入っています。

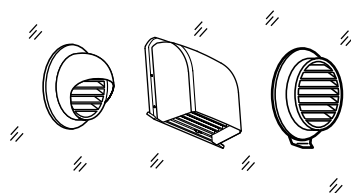
常時換気対象面積の目安

必要換気回数0.5回/h以上の場合
常時換気対象面積：約83㎡(50畳)
以下
(天井高さ2.5mとして計算)
詳しくは工務店様にご確認ください。

15. 確認

- 外壁面には、パイプフード(別売品)またはベントキャップ(別売品)を取り付けてください。

(取付工事の際は、付属の工事説明書をお読みください。)



- フード本体内部に包装材などの異物が入り込んでいないか確認してください。

- スイッチを入れて動作を確認してください。

※「ピーピーピー」いう音がする場合、スイッチがロックされています。

「切」ボタンを3秒以上押し続けて、ロックを解除してください。

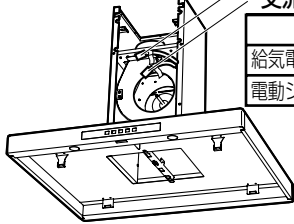
施工が完了しましたら、保護シートを全てはがしてください。

シャッターの取り付け

本センターフードには、運転に連動させてシャッターを開閉することができる接続コネクタがついています。

交流100V 給気用（ラベルが付いています）
交流100V 排気用（ラベルが付いています）

運転モード	常時	弱	強
給気電動シャッター用出力（給気用）	出力無し	交流100V	交流100V
電動シャッター用出力（排気用）	交流100V	交流100V	交流100V



- 接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
- シャッターの施工は機器に付属の施工説明書にもとづき確実にこなってください。



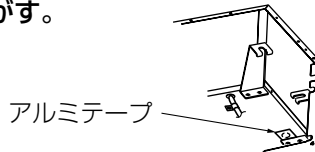
注意

■接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用する



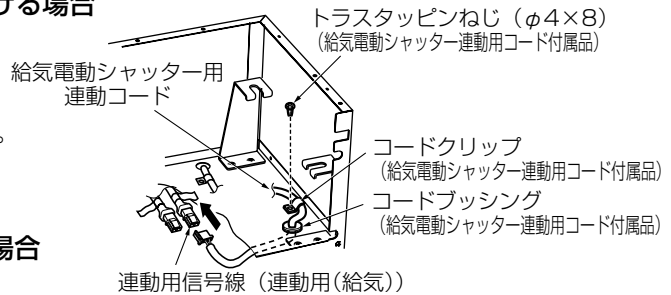
火災や機器故障の原因となります。

①アルミテープをはがす。



② A. 給気電動シャッターのみを取り付ける場合 右図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。

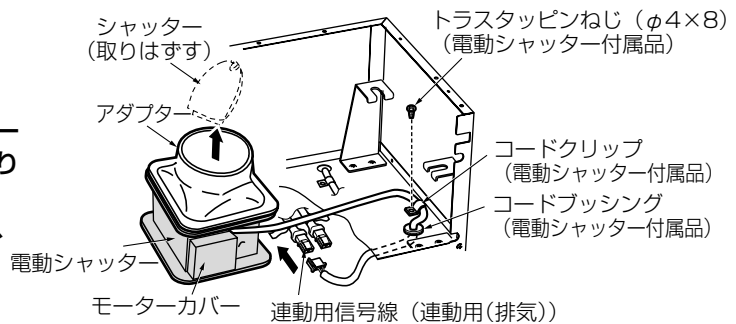
本体側は必ず「給気用」のコネクタ（リード線色 茶・黒）を使用してください。
弱・強運転時にシャッターが開きます。
常時運転時にはシャッターは開きません。



B. 電動シャッターのみを取り付ける場合 右図のように電動シャッターのコードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

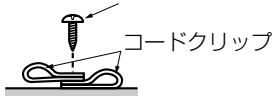
電動シャッターは必ずモーターカバーが前側にくるように取り付けてください。
誤った取り付けをされますと、シャッターが開きません。



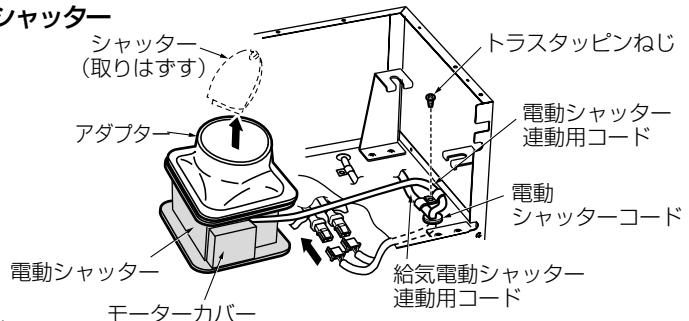
C. 給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合右図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッターのコードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

トラストッピンねじ



※給気用と排気用のコネクタをまちがえないよう十分注意してください。



※給気電動シャッターは、弱・強運転からの停止操作後、約5秒後に閉じるように設計されています。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008

9DCT14201E7X-P0306-5012